

# 令和5年度 静岡県地域職業訓練実施計画

令和5年4月1日

改訂 令和5年10月27日

静岡県

独立行政法人  
高齢・障害・求職者雇用支援機構静岡支部

静岡労働局

## 第1 総則

### 1 計画のねらい

産業構造の変化、技術の進歩その他の経済的環境の変化の中で、職業の安定、労働者の地位の向上及び経済社会の発展を図るためには、労働者に対して適切な職業能力開発を行う必要がある。そのためには、静岡県、事業主等が行う職業能力開発に関する自主的な努力を尊重しつつ、雇用失業情勢等に応じて、国が職業能力開発促進法（昭和44年法律第64号。以下「能開法」という。）第16条第1項の規定に基づき設置する公共職業能力開発施設において実施する職業訓練（能開法第15条の7第3項の規定に基づき実施する職業訓練（以下「委託訓練」という。）を含む。以下「公共職業訓練」という。）及び職業訓練の実施等による特定求職者の就職の支援に関する法律（平成23年法律第47号。以下「求職者支援法」という。）第4条第1項の規定により厚生労働大臣の認定を受けた職業訓練（以下「求職者支援訓練」という。）の充実を図ることにより、労働者の十分な職業能力開発の機会を確保する必要がある。

本計画は、本計画の対象期間（以下「計画期間」という。）中における公共職業訓練及び求職者支援訓練（以下「公的職業訓練」という。）の対象者数や訓練内容等を明確にし、計画的な公的職業訓練の実施を通じて、職業の安定、労働者の地位の向上等を図るものである。

また、公共職業能力開発施設は、本計画を実施する際に、静岡労働局、公共職業安定所、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構及び静岡県等関係機関との連携を図り、効率的かつ効果的な公共職業訓練の実施を図るものとする。

### (2) 計画期間

計画期間は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までとする。

### (3) 計画の改定

本計画は、公的職業訓練の実施状況等を踏まえ、必要な場合には改定を行うものとする。

## 第2 労働市場の動向と課題等

### 1 労働市場の動向と課題

新型コロナウイルス感染症の感染拡大後、有効求人倍率や完全失業率の悪化など雇用への大きな影響が見られたものの、足下の令和4年12月現在では静岡県内の有効求人倍率（季節調整値）は23ヶ月連続で1倍台となり、求人を持ち直しの動きが堅調である。一方、コロナ禍からの経済活動の再開に伴って人手不足感が再び深刻化し、社会全体での有効な人材活用が必要であり、そのためには、働く方々の意欲と能力に応じた多様な働き方を可能とし、賃金上昇の好循環を実現していくことが重要である。

また、中長期的にみると、少子化による労働供給制約の中で持続的な経済成長を実現していくためには、多様な人材が活躍できるような環境整備を進め、一人ひとりの労働生産性を高めていくことが必要不可欠であり、そのためには、職業能力開発への投資を推進していくことが重要である。

デジタル・トランスフォーメーションやグリーン・トランスフォーメーション（以下「DX等」という。）の進展といった大きな変革の中で、中小企業等の着実な事業展開、生産性や技能・技術の向上のために必要となる人材の確保、育成が求められている。加えて、企業規模等によってはDX等の進展への対応が遅れがみられることにも留意が必要である。

こうした変化への対応が求められる中で、地域のニーズに合った人材の育成を推進するためには、公的職業訓練のあり方を不断に見直し、離職者の就職の実現に資する公的職業訓練や、産業界や地域の人材ニーズに合致した在職者の生産性の向上等、多様な職業能力開発の機会を確保・提供することが重要である。

特に、デジタル分野については、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」（令和4年12月23日閣議決定）等において、デジタル人材が質・量ともに不足していることと、都市圏への偏在といった課題を解決するために、職業訓練のデジタル分野の重点化に計画的に取り組むこととしている。

県内ではいずれの企業も人手不足で人材確保に苦慮しているが、IT関連企業も同様である。期間や時間に制約のある現在の職業訓練を修了してもIT技術者としての就職は難しく、IT関連企業では、IT技術者としての適性を見極め、コミュニケーションのとれる人材を採用して社内で教育しているのが実態である。また、IT関連以外の中小企業ではIT技術者の採用は困難であり、IT能力を使ってマーケティングや事務を行う人材を求めている。

障害者については、ハローワークにおける新規求職申込件数が増加傾向にあり、障害者の障害特性やニーズに応じた就職が実現できるよう、一層の環境整備が求められるとともに、人生100年時代の到来による職業人生の長期化を踏まえ、今後は雇入れ後のキャリア形成支援を進めていく必要がある。また、障害者の福祉から雇用への移行を促進するため、障害者雇用施策と障害者福祉施

策が連携を図りつつ、個々の障害者の就業ニーズに即した職業能力開発を推進し、障害者の職業の安定を図る必要がある。

## 2 直近の公的職業訓練をめぐる状況

令和4年4月から令和5年1月末現在で、新規求職者数103,862人（前年同月比100.6%）のうち、求職者支援法第2条に規定する特定求職者に該当する可能性のある者の数は48,280人（前年同月比100.2%）であった。

これに対し、令和4年度の公的職業訓練の受講者数については、以下のとおりである。

<令和4年4月～1月>

離職者に対する公共職業訓練	1,203人（前年同期比88.6%）
県実施分	834人（前年同期956人 前年同期比87.2%）
機構実施分	369人（前年同期402人 前年同期比91.8%）
求職者支援訓練	498人（前年同期比169.4%）
在職者訓練	3219人（前年同期比111.5%）
県実施分	1,877人（前年同期1,693人 前年同期比110.9%）
機構実施分	1,342人（前年同期1,194人 前年同期比112.4%）

## 第3 令和5年度の公的職業訓練の実施方針

令和3年度の離職者向け公的職業訓練の実施状況を分析すると、

- ① 応募倍率が低く、就職率が高い分野（「介護・医療・福祉分野」「製造分野」）があること
- ② 応募倍率が高く、就職率が低い分野（「IT分野」「デザイン分野」）があること
- ③ 求職者支援訓練の中止率が高いこと
- ④ 委託訓練におけるデジタル分野やeラーニングによる訓練コースの拡充が必要であること

といった課題がみられた。

これらの課題の解消を目指し、令和5年度の公的職業訓練は以下の方針に基づいて実施する。

- ① については、応募・受講しやすい募集・訓練日程の検討をした上で実施するとともに、訓練コースの内容や効果を踏まえた受講勧奨を強化する。
- ② については、求人ニーズに即した訓練内容になっているか、就職支援策が十分かについて検討した上で運用を見直す。また、ハローワークと連携した就職支援を強化する。
- ③ については、令和3年10月に情報共有のスキームを策定し、支援訓練の中止率は低下している。一方、令和4年7月からの受講指示の相互乗り入れにより委託訓練の応募者が減少しており、引き続き調整を行う。

- ④ については、職業訓練のデジタル分野への重点化や、新たな実施機関の開拓を推進する。

#### 第4 計画期間中の公的職業訓練の対象者数・内容等

##### 1 離職者に対する公的職業訓練

##### (1) 離職者に対する公共職業訓練

##### ア 施設内訓練に係る実施規模と分野

##### (ア) 県立施設

- ・ものづくり系を中心とした職業訓練を設定、新たな職業に必要な基礎的知識と技能を付与し、再就職を促進するための訓練を実施する。

施設名称	定員	訓練科目	目標（就職率）
工科短期大学校 （沼津キャンパス）	44人	溶接科、電気工事科、住宅リフォーム科	離職者訓練全体 （施設内訓練＋ 委託訓練）で 80%
浜松技術専門校	62人	機械加工科（3か月）、溶接加工科（3か月）、機械・溶接加工科（6か月）、電気工事科、造園科	
合計	106人	8科目（20コース）	

##### (イ) 支援機構立施設

- ・地域の事業主団体や事業主等業界の人材ニーズを基に、主にもものづくり分野であって、委託訓練等民間では実施が難しいコースを設定する。

##### i 普通職業訓練短期課程（訓練期間：6か月）

施設名称	定員	訓練科目	目標（就職率）
静岡職業能力開発促進センター	454人	【機械系】CAD・NC加工科、機械設計製図科、ものづくり溶接科 【電気系】電気設備技術科、IoTシステムエンジニア科 【居住系】ビル設備サービス科、リノベーションデザイン科、住環境コーディネート科	82.5%

##### ii 日本版デュアルシステム（短期課程活用型）（訓練期間：6か月）

- ・概ね55歳未満の求職者の方を対象に、静岡職業能力開発促進センターで実施する職業訓練と企業等での実習を組み合わせる。

施設名称	定員	訓練科目	目標（就職率）
静岡職業能力開発促進センター	50人	【機械系】ものづくり機械加工科 【電気系】電気設備施工科	82.5%

### iii 橋渡し訓練（訓練期間：1か月）

- ・ 専門基礎力の習得及び就職へ結びつけるための導入訓練を実施する。

施設名称	定員	訓練科目	目標（就職率）
静岡職業能力開発促進センター	32人	橋渡し訓練	—

## イ 委託訓練に係る実施規模と分野

- ・ 専修学校、NPO 法人等民間教育訓練機関の様々な教育資源を活用しながら、地域の雇用情勢や産業界のニーズに的確に対応し、雇用が見込まれる分野の職業訓練を、機動的かつ弾力的に実施している。
- ・ 訓練分野は、雇用の受け皿として期待される介護、医療などの分野や IT、会計経理、ビジネス実務等企業の即戦力となる人材を養成する訓練を充実する。
- ・ 一旦離職した女性や母子家庭の母等が安心して職業訓練を受講できる環境を整備するため、長期の資格取得コースを除き、全ての訓練に託児サービスを設定する。
- ・ 座学と企業実習を組合せた実践的な訓練の実施（委託訓練活用型デュアルシステム）、切れ目のない再就職支援のため年度を跨いだ訓練、定住外国人を対象とした訓練、母子家庭の母等や新規学卒未内定者を優先した訓練等、求人求職ニーズを踏まえた多様な職業訓練を実施する。
- ・ これまで能力開発の機会に恵まれなかった非正規雇用労働者等を対象として、国家資格取得等を目指す長期の訓練コースを推進し、正社員就職に導くことが出来る訓練を実施する。
- ・ 短期間・短時間のコース設定など、受講者の多様なニーズに対応できる受講環境の整備を図っていく。

	県立工科短期大学校・技術専門校				目標（就職率）
	計	静岡	沼津	浜松	
事務系	972人	316人	318人	338人	離職者訓練 全体（施設内訓練＋委託訓練）で 80%
情報系	153人	30人	63人	60人	
サービス系	46人	1人	0人	45人	
介護系	186人	45人	97人	44人	
その他	40人	15人	25人	0人	
<b>合計</b>	<b>1,397人</b>	<b>407人</b>	<b>503人</b>	<b>487人</b>	

## (2) 求職者支援訓練

### ア 実施規模と分野

- ・ 668 人程度に訓練機会を提供するため、訓練認定規模については 668 人以上とし、1,144 人を上限として実施する。
- ・ 訓練内容としては、基礎的能力を習得する職業訓練（基礎コース）及び実践的能力を習得する職業訓練（実践コース）を設定する。
- ・ その際、成長分野、人手不足分野とされている分野・職種に重点を置くとともに、地域における産業の動向や求人ニーズを踏まえたものとする。
- ・ 基礎コースにおいて、受講中に希望職種やキャリアプランを明確化した上で、修了後、本人の希望や訓練受講中に作成したジョブ・カードの内容等を踏まえ、希望職種に就くために必要な専門的スキルを習得し安定した就職の実現のために更に職業訓練の受講の必要がある場合は、関連する訓練情報を提供し、実践コースや公共職業訓練の連続受講を勧奨するものとする。
- ・ 実践コースでは、就職氷河期世代を含めた安定就労を目指す方々が、個々人の状況に応じて安定就労に有効な職業能力等の習得ができるようなコースの設定を行う。

		訓練認定規模	割合	目標（就職率）
基礎コース		233 人	20.4%	58%
実践コース		911 人	79.6%	63%
訓練分野	介護福祉分野【全国共通分野】	85 人	実践コース中の割合	9.3%
	医療事務分野【全国共通分野】	172 人		18.9%
	デジタル系【IT分野】	80 人		36.2%
	【WEBデザイン系】	250 人		
	営業・販売・事務分野 建設関連分野 その他の分野	181 人		19.9%
分野共有枠（全ての分野）	143 人	15.7%		
		1,144 人	100%	

- ・ 以下の i ~ iii の対象者の特性・訓練ニーズに対応した訓練を地域ニーズ枠とする。  
地域ニーズ枠の申請があった場合は、各認定単位期間において各地域毎（東部・中部・西部）に定員数 15 名まで優先的に選定する。

- i 安定就労を目指す就職氷河期世代（就職氷河期世代活躍支援プランに基づく特定分野に限る）
- ii 子育てや介護等により長期の職業ブランクを経た女性
- iii 生涯現役で働きたい高齢者

## イ 認定単位期間

支援機構においては、四半期毎に求職者支援訓練を認定することとする。（ただし、シフトが減少したシフト制で働く方などが、仕事と訓練の受講を両立しやすくなるよう設定する短期間・短時間の訓練コースは、随時の認定を可能とする。）

なお、各四半期の認定において一定の余剰定員が生じた場合は、追加して認定を行うことができる。

コース別の訓練認定規模を超えては認定しない。ただし、実践コースの訓練分野毎の訓練認定規模を超えた認定申請があった場合には、全ての分野に適用可能な「分野共有枠」を用いた認定を行う。（実践コースの訓練実施計画規模以内での運用となる。）

なお、設定数を超える認定申請がある場合は、

- i 新規参入枠については、職業訓練の内容等が良好なものから認定する。
- ii i 以外については、求職者支援訓練の就職実績等が良好なものから認定する。

認定単位期間毎の具体的な定員及び認定申請受付期間等については、静岡労働局及び支援機構のホームページで周知する。

## ウ 新規参入枠（上限値）

新規参入枠（上限値）は基礎コース 30%、実践コース 30%とする。

ただし、15人に満たない場合は15人に切り上げるものとする。

地域ニーズ枠として設定した訓練分野については、全て新規枠とすることを可能とし、前記「新規参入枠（上限値）」の制約を受けない。

## エ 繰り越した余剰定員についての取扱い

認定コースの定員数が少なかった場合の繰り越し分及び中止コースの繰り越し分について、第3四半期及び第4四半期においては、基礎・実践間の振替や、実践コースの他分野への振替を可とする。

## 2 在職者に対する公共職業訓練の対象者数・内容等

- ・在職者訓練については、産業構造の変化、技術の進歩等による業務の変化に

対応する高度な技能及びこれに関する知識を習得させる真に高度な職業訓練であって、民間教育訓練機関において実施することが困難なものを実施するものとする。

- ・ ものづくり分野において、企業の中で中核的役割を果たしている者を対象に、専門的知識及び技能・技術を習得させる高度なものづくり訓練を実施する。さらに、生産性向上人材育成支援センターにおいては、幅広い分野の事業主からのデジタル人材や生産性向上に関する相談等に対応するとともに、課題の解消に向けた適切な職業訓練のコーディネート等の事業主支援を実施する。
- ・ ものづくり分野については、DX等に対応した職業訓練コースの開発・充実、訓練内容の見直し等を図る。
- ・ 訓練の効果を客観的に把握する観点から、訓練コースの受講を指示した事業主等に対して、受講者が習得した能力の職場での活用状況について確認する。

#### (1) 県立施設

施設名称	定員	訓練科目
工科短期大学校 (静岡キャンパス)	666 人	溶接科、機械加工科、機械製図科、コンピュータ制御科、電気工事科、建築設計科、広告美術科、電気通信科、OA事務科、メカトロニクス科、その他(新入若手社員講座、食品加工)
工科短期大学校 (沼津キャンパス)	1,067 人	溶接科、機械加工科、機械製図科、コンピュータ制御科、電気工事科、プラスチック製品成形科、建築設計科、電気通信科、OA事務科、メカトロニクス科、データベース設計科、その他(工場管理科)
浜松技術専門校	1,565 人	造園科、塑性加工科、溶接科、機械加工科、機械製図科、コンピュータ制御科、木工科、プラスチック製品成形科、建築設計科、配管科、広告美術科、電気通信科、OA事務科、メカトロニクス科、その他(監督者訓練一科、監督者訓練二科、監督者訓練三科、工場管理、食品加工)
合 計	3,298 人	43 科目



## (2) 支援機構立施設

施設名称	定員	訓練科目
静岡職業能力開発促進センター	1,846人 (目標値1,260人)	建築科、建築設備科、住居環境科、制御技術科、メカトロニクス技術科、生産技術科、電気技術科、電子技術科
浜松職業能力開発短期大学校	1,277人 (目標値890人)	生産技術科、制御技術科、産業機械科、メカトロニクス科、電気技術科、電子技術科、建築設備科、電子情報技術科
<b>合計</b>	<b>3,123人</b>	<b>16科目</b>

・また、中小企業等の労働生産性向上等に向けた人材育成について、生産性向上支援訓練を実施・支援する。

施設名称	定員	訓練名称
生産性向上人材育成支援センター	1,480人	生産性向上支援訓練

## 3 学卒者等に対する公共職業訓練の対象者数・内容等

### (1) 県立施設

#### ア 若年者コース訓練（訓練期間：1年若しくは2年間）

・概ね30歳以下の若者を入校の対象とし、ものづくりに必要な基礎的技術から、生産現場での即戦力となる実践的技術までを身に付け、将来を担う技術者・技能者の育成を目指す職業訓練を実施する。

施設名称	課程	定員	訓練科目	目標（就職率）
工科短期大学校 (静岡キャンパス)	高度 専門	140人	機械・制御技術科、電気技術科、建築設備科	100%
工科短期大学校 (沼津キャンパス)		120人	機械・生産技術科、電子情報技術科、情報技術科	100%
浜松技術専門校	普通 普通	40人	機械技術科、建築科、設備技術科	100%
<b>合計</b>		<b>300人</b>	<b>9科目</b>	

### (2) 支援機構立施設

#### ア 高度職業訓練専門課程（訓練期間：2年間）

施設名称	課程	定員	訓練科目	目標（就職率）
浜松職業能力開発短期大学校	高度専門	130人	生産機械技術科、電気エネルギー制御科、電子情報技術科	95.0%

#### 4 障害者等に対する公共職業訓練

##### (1) 県立施設

###### ア 施設内訓練

施設名称	課程	定員	訓練科目	目標（就職率）
あしたか職業訓練校	普通 普通	10人	コンピュータ科、	100%
	普通 短期	40人	生産・サービス科	100%
合計		50人	2科目	100%

###### イ 委託訓練

- ・ 障害のある方の職業的自立を支援するため、各人の能力や適性に応じた職業的基礎と技能を身に付ける職業訓練を実施する。

区分	対象	県立工科短期大学校・技術専門学校					目標（就職率）
		計	静岡	沼津	浜松	あしたか	
デュアル訓練	身体的 知的 精神等	90人	30人	40人	20人	0人	80%
事業主委託訓練		180人	50人	30人	75人	25人	
在職者訓練	在職 障害者	120人	40人	0人	20人	60人	—
合計		390人	120人	70人	115人	85人	80%

#### 第5 その他、職業能力の開発及び向上の促進のための取組等

##### 1 職業訓練の効果的な実施のための取組

地域職業能力開発促進協議会等を活用し、労働局と県立施設、支援機構立施設が訓練ニーズや設定コース等の情報共有を行い、同一地域内で訓練実施時期や分野が重複しないよう調整を行う。

##### 2 公的職業訓練受講者等に対する就職支援等の充実

###### (1) 公的職業訓練受講希望者に対する支援

公的職業訓練受講希望者には、生涯を通じたキャリア・プランニングを促し、職業選択やキャリア形成の方向付けの支援を行うため、公共職業安定所におけるキャリアコンサルティングや、訓練受講希望者等に対するジョブ・カード作成支援推進事業におけるジョブ・カード作成支援等を通じ、適切な訓練コースの選択を支援する。

## (2) 公的職業訓練受講者に対する支援

求職者支援訓練の受講者には、長期失業者や正社員経験が少ない者もみられることから、職業訓練により知識や技能を高めることはもとより、訓練修了者の就職に向けてもきめ細かい支援が必要である。

また、公共職業訓練の受講者においても、訓練修了後の就職に向けたきめ細かい支援を行う必要がある。

このため、各訓練受講者の訓練期間中にジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングの機会を設け、訓練修了後の求職活動の方向性を明確化するとともに、訓練実施機関と公共職業安定所とが連携し、訓練効果を活かせる求人情報の提供など、就職に向けた支援を充実する。

また、訓練受講者のうち訓練修了までに就職が決まらない可能性のある者について、訓練期間中に漏れなく公共職業安定所へ誘導し、本人の希望・ニーズを踏まえた就職支援を実施する。

訓練修了後は、訓練実施機関による独自の就職支援のほか、公共職業安定所においても、訓練実施機関が訓練修了時に作成支援したジョブ・カード（評価シートを含む。）等を活用し、未就職者の就職支援に一層積極的に取り組んでいく。

## (3) 「ハロートレーニングのワンストップ情報提供サービス」を活用した訓練コース情報の提供

※「ハロートレーニング」：（公共職業訓練と求職者支援訓練の総称）

全国の公的職業訓練情報をワンストップで提供し、訓練種別や実施都道府県に関わりなく、希望する就職の実現に向けて必要となる知識・技能を習得できる訓練コース情報を的確に得られるよう、求職者支援訓練の訓練コース情報と合わせ、各職業能力開発施設が実施する公共職業訓練（離職者訓練）のコース情報の登録及び周知・活用を図っていく。

## 3 推進体制

### (1) 関係機関の連携

静岡労働局・静岡県・支援機構が一体的に公共職業訓練（離職者訓練）と求職者支援訓練の調整を行うことで、訓練規模、分野、時期、地域において適切に職業訓練の機会や受講者を確保する。

静岡労働局・静岡県・支援機構の三者で締結している「静岡県ものづくり人材育成協定」に基づき、ものづくり人材の育成に取り組むとともに、相互に緊密に連携・協力しながら、職業訓練に関する次の事業を推進する。

- (ア) 職業訓練指導員のスキルアップ
- (イ) 講師の派遣や会場の提供
- (ウ) 訓練カリキュラムの研究
- (エ) 企業の人材育成ニーズに係る情報の収集・共有
- (オ) 企業や県民への広報

公的職業訓練の愛称・キャッチフレーズ「ハロートレーニング ～急がば学べ～」やロゴマーク（愛称「ハロトレくん」）を活用し、静岡労働局・静岡県・支援機構の他関係機関と連携のうえ、公的職業訓練の周知・広報に努め、その認知度向上及びさらなる活用促進を図る。

職業訓練を効果的に実施し、訓練修了者の就職を実現していく上で、国・県の関係機関はもとより、地域の訓練実施機関の団体や労使団体等の幅広い理解・協力が求められる。

このため、令和4年度においても、関係者の連携・協力の下に、求人ニーズをはじめとした訓練ニーズを的確に把握し、本県の実情を踏まえた計画的で実効ある職業訓練の推進及び産業ニーズを踏まえた訓練内容の検討等を行う。

## (2) ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングの推進

公的職業訓練受講希望者に対し、「生涯を通じたキャリア・プランニング」及び「職業能力証明」のツールであるジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングなど、キャリア形成に資する情報提供及び相談援助を実施するものとする。

ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングを実施するため、関係機関とも連携の上、説明会等の様々な機会を活用して周知を図る。

## 4 リスキリングの推進について

地域におけるリスキリングの推進のため、県と市町は、デジタル・グリーン等成長分野に関するリスキリングの推進に資する「経営者等の意識改革・理解促進」、「リスキリングの推進サポート」及び「従業員の理解促進・リスキリング支援」等に積極的に取り組む。労働者のリスキリングを促進し、地域で必要な人材の確保につなげる。

(別紙「令和5年度地域リスキリング推進事業一覧(県実施分・市町実施分)」)

## 令和5年度地域リスキング推進事業一覧（県実施分）

NO	事業名	事業概要	分野	対象事業	実施主体	対象者	R5当初予算(千円)	
							総事業費	対象事業費
1	中小企業デジタル技術導入促進事業費	中小製造業の労働生産性向上のため、IoT・ロボット等のデジタル技術の普及啓発、導入促進を図る。	①デジタル	③従業員の理解促進・リスキング支援	県	民間企業従業員	28,500	15,703
2	ふじのくにICT人材育成事業費	AI・ICT人材の圧倒的な不足に対応するため、「ふじのくにICT人材確保・育成戦略」で掲げた4つの階層毎に人材確保・育成施策を展開する。	①デジタル	③従業員の理解促進・リスキング支援	県	民間企業従業員	145,700	36,200
3	スタートアップ支援事業費	トップレベルのICT人材を県内に呼び込み、県内企業が抱える課題の解決や新ビジネスを創出するため、首都圏等のスタートアップ企業と県内企業の協力を促す商談会やセミナー、講演会等を実施する。	①デジタル	③従業員の理解促進・リスキング支援	TECH BEAT Shizuoka実行委員会	民間企業従業員	85,600	35,000
4	ふじのくにCNFプロジェクト推進事業費	県内事業所に勤めているCNFを活用した製品開発担当者、一般社員等を対象にCNFを活用するためのセミナー等を開催し、CNFの社会実装を推進できる人材を育成する。	②グリーン	③従業員の理解促進・リスキング支援	県	民間企業従業員	72,500	18,100
5	地域ものづくり企業技術革新支援事業費助成	浜松地域イノベーション推進機構が中小企業に対して実施する、各種研修会・講座等の人材育成事業と、最新情報の提供等の参入促進事業の実施に対して助成する。	①デジタル	③従業員の理解促進・リスキング支援	浜松イノベーション推進機構	民間企業従業員	9,000	6,081
6	多様な働き方導入推進事業費	現場を抱え、テレワーク導入が困難と考えられている業種の経営者を対象として、業種別の導入事例を紹介するセミナーを開催し、県内中小企業等経営者の意識改革を促進する。 また、企業内担当者を対象として、テレワーク導入に必要な知識、ツールを学ぶ人材養成講座を開催し、テレワーク導入を推進することができる人材を育成する。	①デジタル	①経営者等の意識改革 ③従業員の理解促進・リスキング支援	県	民間企業従業員	36,800	17,692
7	店舗のデジタル化サポート事業費	中小・小規模事業者を対象に、デジタル活用の理解と導入を促すセミナーを開催し、ポストコロナ時代の店舗づくりを支援する。	①デジタル	①経営者等の意識改革	県	中小・小規模事業者	600	600
8	水産業デジタル技術実装促進事業費	水産資源の減少等により厳しい現況にある水産業者の所得向上や業務効率化等を図るため、本事業では短期間で取組の効果が出る対策として、デジタル技術の実装を促進する。	①デジタル	③従業員の理解促進・リスキング支援	県	漁業者	10,000	3,000

NO	事業名	事業概要	分野	対象事業	実施主体	対象者	R5当初予算(千円)	
							総事業費	対象事業費
9	環境ビジネス・ESG 金融普及拡大事業	脱炭素社会・循環型社会の実現を見据え、企業等における環境対応を促進するため、ESG・環境ビジネスの普及啓発を行うセミナーの開催や、環境ビジネスプランの発掘・育成を行うコンテストを開催する。	②グリーン	①経営者等の意識改革	県	中小企業等	8,500	8,500
10	県民参加の森づくり・緑化推進事業費	森林空間の活用に向け、HPやセミナー開催を通して活用事例を発信し、県民の関心を喚起するとともに、森林所有者や事業者の意識醸成を図る。	②グリーン	①経営者等の意識改革	県	県民・森林所有者・事業者等	10,000	616
合 計							407,200	141,492

令和5年度地域リスキング推進事業一覧（市町実施分）

NO	市町名	事業名	事業概要	分野	対象事業	実施主体	対象者	対象事業費 (円)
1	静岡市	Reまなびプロジェクト推進事業	・大人の学び直しに資するテーマを設けたシンポジウムの開催（Reまなびシンポジウム） ・市内の大学講師陣による、旬な社会的テーマを取り上げた講座の開催（Reまなび大学リレー講座） ・生涯学習施設において、ビジネスパーソンを対象にした大人の学び直しに関する講座を開催（Reまなび講座）等	③その他成長分野	②リスキングの推進サポート	市	市内の経営者、在職者及び求職者	1,466,000
2	静岡市	脱炭素ビジネスプラットフォーム構築事業	脱炭素経営計画の策定に向けた、経営者向けセミナー、企業担当者向けセミナー、担当者WSの開催	②グリーン	①経営者等の意識改革	市・大学	市内企業	4,000,000
3	静岡市	ヘルシー食deブランディング 飲食関係者向け専門講座	飲食の提供を行うお店の経営者やシェフが、食と健康をテーマにヘルシーメニューの「型」づくりの手法やマーケティング、ブランディング等を学び、食に新たな付加価値を加える支援を実施	③その他成長分野	①経営者等の意識改革	市	市内の飲食店経営者もしくはシェフ	1,060,000
4	静岡市	介護従事者のためのスキルアップ研修	市内介護従事者向けに基礎的な介護スキルを身に付けさせる研修を開催	③その他成長分野	③従業員の理解促進・リスキング支援	市	市内介護従事者	175,000
5	静岡市	介護職員初任者研修受講就労助成金	介護人材確保のため、介護職員初任者研修の受講費用を支援する	③その他成長分野	②リスキングの推進サポート	市	静岡市民	800,000
6	静岡市	介護職員初任者研修講座	再就職を目指す方を対象とした介護サービスの提供に必要な知識や技能を習得するための研修講座の開催	③その他成長分野	③従業員の理解促進・リスキング支援	市	介護業界に再就職を目指す者	1,784,000
7	静岡市	中小企業等DX支援事業	市内中小企業等のDXを推進するため、専門家による企業への伴走型支援を行う。	①デジタル	①経営者等の意識改革	市	市内中小企業の経営者	5,000,000
8	静岡市	就職氷河期世代再チャレンジ支援事業	オンライン学習を活用して基本的なビジネスツールなどの習得支援とともに、カウンセリングや企業との交流会を併せて開催することで就職をサポートする。	③その他成長分野	③従業員の理解促進・リスキング支援	市	就職氷河期世代等就職に難を抱える者	3,755,000
9	静岡市	ダイバーシティ経営推進講演会	多様な人材が活躍する職場環境整備の推進を目的として、経営者の意識改革を図るための専門家による取組事例等の発表	③その他成長分野	①経営者等の意識改革	市	ダイバーシティ経営に取り組もうとする企業の経営者や管理職等	1,000,000
10	静岡市	オクズンの森林資格取得補助事業	林業従事者の労働災害防止のための資格取得等に係る経費の一部を補助する。	③その他成長分野	③従業員の理解促進・リスキング支援	市	市内に住所を有する林業従事者	600,000
11	浜松市	介護職員キャリアアップ支援事業	介護職員の確保及び定着支援のため、介護職員等の資格取得にかかる費用を一部助成	③その他成長分野	③従業員の理解促進・リスキング支援	市	市内介護事業所に勤務する職員	14,815,000
12	浜松市	農業経営塾	市内の意欲ある農業者を対象に農業経営に関する講座を開催し、次代の浜松の農業をけん引する経営者やコンサルティングする人材を育成	③その他成長分野	①経営者等の意識改革	市	市内農業経営者等	2,052,000
13	浜松市	ヒューマンスキル向上セミナー	DX化を円滑にすすめるための部門横断的に社内全体を動かすヒューマンスキルを学ぶセミナーを実施	①デジタル	③従業員の理解促進・リスキング支援	浜松地域中小ものづくり企業IoT推進協議会	市内中小企業の経営者・従業員	100,000
14	浜松市	DX体験講座	小型のIoTデバイス開発ツールを用いてセンサーからのデータ収集とクラウドを活用した見える化を体験する講座を開催	①デジタル	③従業員の理解促進・リスキング支援	浜松地域中小ものづくり企業IoT推進協議会	市内中小企業の経営者・従業員	200,000
15	浜松市	セキュリティ講座	サイバー攻撃及びその対策について理解を深める講座を実施	①デジタル	③従業員の理解促進・リスキング支援	浜松地域中小ものづくり企業IoT推進協議会	市内中小企業の経営者・担当者	100,000
16	浜松市	生産性向上セミナー	経営課題と現場の課題を繋ぐ考え方や管理会計と改善活動の繋がり等を学ぶセミナーを開催	③その他成長分野	①経営者等の意識改革	市	市内中小企業の経営者・担当者	464,000
17	浜松市	産業用ロボット教示スクール	産業用ロボットの教示等の業務に係る特別教育を実施	③その他成長分野	③従業員の理解促進・リスキング支援	市	技能者・技術者	2,552,000
18	浜松市	PLC講習会	ロボットシステム制御に関するPLC講習会を実施	③その他成長分野	③従業員の理解促進・リスキング支援	市	技能者・技術者	397,000
19	浜松市	ロボットプログラミング講習会	ロボットプログラミングの概要・基礎を学ぶ講習会を実施	③その他成長分野	③従業員の理解促進・リスキング支援	市	技能者・技術者	181,000

NO	市町名	事業名	事業概要	分野	対象事業	実施主体	対象者	対象事業費 (円)
20	浜松市	製造業向けIoT実践講習会	IoTの基礎、ラズパイを使った実技を実施	①デジタル	③従業員の理解促進・ リスクリング支援	市	技能者・技術者	787,000
21	浜松市	カーボンニュートラル対策 推進セミナー	中小企業のCo2削減に向けた現状把握や実施計 画、先進事例を学ぶセミナーを開催	②グリーン	①経営者等の意識改革	市	市内中小企業の経 営者・担当者	400,000
22	浜松市	サイバーセキュリティ対策 向上セミナー	中小企業におけるサイバーセキュリティ対策を学 ぶセミナーを開催	①デジタル	①経営者等の意識改革	市	市内中小企業の経 営者・担当者	400,000
23	浜松市	製造業のWEBマーケティ ングセミナー	製造業向けに、引き合いのくるウェブサイト構築 ポイントを学ぶセミナーを実施	①デジタル	③従業員の理解促進・ リスクリング支援	市	市内中小企業の経 営者・担当者	400,000
24	浜松市	海外オンラインマーケティ ングセミナー	海外ビジネス展開におけるマーケティングの活用 方法や有効性を学ぶセミナーを実施	①デジタル	①経営者等の意識改革	市	市内中小企業の経 営者・担当者	195,000
25	浜松市	製造中核人材育成講座	基板製造技術の基礎知識を習得するための講座を 開催	③その他成長分野	③従業員の理解促進・ リスクリング支援	(公財)浜松 地域イノベー ション推進機 構	中小企業の経営 者・技術者	2,623,000
26	浜松市	現場目線のDXセミナー	実際の現場で必要かつ実践可能なDXに係るセミ ナーを実施	①デジタル	①経営者等の意識改革	(公財)浜松 地域イノベー ション推進機 構	中小企業の経営 者・担当者	343,000
27	浜松市	3Dデータ活用推進講座	3D-CAMの操作実習を学ぶ講座を開催	①デジタル	③従業員の理解促進・ リスクリング支援	(公財)浜松 地域イノベー ション推進機 構	中小企業の設計担 当者	383,000
28	浜松市	リスクリングの始め方講座	リスクリングの実例やそのためのツールを紹介し ながらリスクリングの始め方を学ぶ講座を開催	③その他成長分野	②リスクリングの推進 サポート	(公財)浜松 地域イノベー ション推進機 構	中小企業の経営 者、人材育成担当	177,000
29	浜松市	デジタルを活用した業務効 率化セミナー	間接部門のデジタル化やデジタル化を進めるうえ で必要な知識やツールを学ぶ講座を開催	①デジタル	③従業員の理解促進・ リスクリング支援	(公財)浜松 地域イノベー ション推進機 構	中小企業担当者	115,000
30	浜松市	組込みソフトウェア技術コ ンソーシアム負担金	各種製品に用いられている組み込みシステムの技 術者養成を行う講座等を開催(事業費は左記対象 事業費の一部)	①デジタル	③従業員の理解促進・ リスクリング支援	組込みソフト ウェア技術コ ンソーシアム (静岡大学情 報学部)	市内中小企業の従 業員等	3,000,000
31	浜松市	レーザー中核人材育成事業 費負担金	高付加価値のものづくり技術の実用化や普及を図 るための人材育成講座を開催(事業費は左記対象 事業費の一部)	③その他成長分野	③従業員の理解促進・ リスクリング支援	光産業創成大 学院大学	市内中小企業の従 業員等	1,000,000
32	浜松市	海外ビジネスセミナー	海外ビジネスに関するWEBセミナーを開催	③その他成長分野	③従業員の理解促進・ リスクリング支援	浜松市海外経 済交流推進協 議会	市内企業従業員	2,310,000
33	浜松市	海外現地セミナー	市内から海外展開している企業の現地法人を対象 に現地法人運営のためのセミナーを海外で開催	③その他成長分野	③従業員の理解促進・ リスクリング支援	浜松市海外経 済交流推進協 議会	海外現地法人の従 業員	1,045,000
34	浜松市	創業セミナー	創業に興味・関心を持つ人に向け、創業への意識 を醸成するセミナーを開催	③その他成長分野	①経営者等の意識改革	はままつ起業 家カフェ運営協 議会	市内の創業希望者	265,000
35	熱海市	中小企業事業者支援相談	組織による相談体制と各種の高い専門性を兼ね備 えたビジネスアドバイザー派遣により熱海市チャ レンジ応援センター「A-supu」として、地域産業 を担う事業者の経営・創業等の事業者相談に応 え、地域経済全体の生産性(売上・利益など)向上 や企業間連携を行い地域課題解決へつなげる。	③その他成長分野	②リスクリングの推進 サポート	市	市内事業者及び起 業・創業希望者※ 市内企業との取引 に係る市外事業者 の場合も可	24,478,000
36	三島市	介護職員初任者研修費等補 助金	市内の介護施設等における介護人材の確保・充実 を図るため、介護職員初任者研修または介護福祉 士実務者研修を修了し、現在も継続して介護施設 等で働いている者を対象に研修に要した対象経費 の一部を補助する。	③その他成長分野	③従業員の理解促進・ リスクリング支援	市	介護職員	200,000



NO	市町名	事業名	事業概要	分野	対象事業	実施主体	対象者	対象事業費 (円)
37	伊東市	再就職講座	離転職者に対し、情報化社会に対応できるよう「パソコンの基礎」を中心とした講座を実施することで再就職につなげ雇用促進・安定を図る。	①デジタル	②リスキリングの推進サポート	職業訓練法人伊東職業訓練協会	離職者や今後就職を考えている市民。 ※事務能力を身につけたい労働者も対象	700,000
38	伊東市	創業支援事業	・創業希望者を対象に創業に係る経営、財務、人材育成、などの知識を習得する機会を提供することを目的とする伊東創業塾の開催。 ・創業後の経営相談や販路拡大支援などによるフォローアップ	③その他成長分野	①経営者等の意識改革	伊東商工会議所	創業希望者や創業直後の事業者	1,000,000
39	島田市	キャリア支援事業補助金	市内在住の勤労者がキャリアアップやセカンドキャリアに向けて資格を取得する際に要した経費の一部を補助する事業	③その他成長分野	③従業員の理解促進・リスキリング支援	市	市内在住の勤労者	1,000,000
40	島田市	島田ビジネススクール運営事業	経営手法を学ぶ場を官民協働で常設し、企業経営者等を育成する	③その他成長分野	①経営者等の意識改革	市	市内中小企業の経営者、起業希望者等	3,494,730
41	富士市	キャリア教育経営者向けセミナー	企業の人材確保力や組織力を高めるため、キャリア教育に関するセミナーを開催	③その他成長分野	①経営者等の意識改革	市	企業等の経営者または人事担当責任者	671,000
42	富士市	新産業創出研究セミナー	次世代自動車や航空宇宙分野等の先端産業、海洋プラスチック問題や化石原料の転換など環境・エネルギー問題等に関する産業、持続可能な産業構造の構築など、時代や社会が要望・要請するテーマによるセミナーを開催	③その他成長分野	①経営者等の意識改革	市	市内等の事業者	299,820
43	富士市	DX推進アドバイザーによるDX推進セミナー	DX・テレワークの導入が難しいと考えられている業種に対して効果的な助言を行うべく、業種ごとのセミナーを開催する。	①デジタル	①経営者等の意識改革	市	市内等の事業者	1,000,000
44	富士市	介護職員初任者研修受講費補助金	介護職に従事する人材の確保と定着を図るため、介護職員初任者研修を修了し、市内の介護保険事業所に継続して従事している者を対象に、研修に要した費用の一部を補助する。	③その他成長分野	③従業員の理解促進・リスキリング支援	市	介護職員	500,000
45	富士市	富士市省エネルギー診断事業	エネルギーの知見を有する富士市環境アドバイザーが、市内事業者のエネルギー利用状況等を診断し、経営者・設備担当者等が現状把握、及び省エネ性能の高い設備への更新による省エネ効果（環境性・経済性）を定量的に示し環境への意識改革を促すとともに、市域の脱炭素化を促進する。	②グリーン	①経営者等の意識改革	市	市内事業者	286,000
46	富士市	富士市中小企業者ゼロカーボンコンサルティング事業	エネルギーの知見を有する富士市環境アドバイザーが、市内中小事業者のエネルギー利用状況を診断し課題を洗い出す。そのうえで経営者・設備管理担当者へ企業活動に伴う温室効果ガス排出量を報告したうえで、環境性・経済性の高い取組（設備改修・再エネ設備導入・設備運用改善など）を提案し、脱炭素経営に資する選択肢を提供する。	②グリーン	①経営者等の意識改革	市	市内中小企業者	296,000
47	富士市	富士市事業所環境マネジメント支援セミナー事業	事業所の環境マネジメントシステム（EMS）構築や運用維持を支援するために、EMSに関する国際規格であるISO14001の取得、更新に係るセミナーを開催する。	②グリーン	③従業員の理解促進・リスキリング支援	市	市内事業者	480,000
48	富士市	富士市ゼロカーボンシンポジウム	気候変動対策の必要性を、市民、事業者、団体などあらゆる主体に再認識してもらうとともに、令和5年3月に策定した「富士市ゼロカーボン戦略2050」に基づく、今後の本市の取組を広く周知することで、脱炭素化への機運醸成を図る。	②グリーン	①経営者等の意識改革	市	市内事業者、市民	1,536,000
49	磐田市	地域雇用創造事業	企業体質の転換に繋がる経営者向けセミナーやモノづくりに必要な知識、技術習得のための就業者向けセミナーを複数回開催	②グリーン	①経営者等の意識改革	磐田商工会議所 (委託事業)	市内中小企業の経営者及び従業員	3,000,000
50	磐田市	人材育成事業費補助金	人材育成のために市内で新たに実施する研修等に係る経費を補助する。 対象経費 講師謝金、講師旅費、会場・設備借上費、テキスト代等 補助額 上限10万円 補助率 対象費の1/2	③その他成長分野	③従業員の理解促進・リスキリング支援	市	市内に事業所を有する中小事業者 ※2社以上や中小事業者が組織する団体も対象	2,000,000

NO	市町名	事業名	事業概要	分野	対象事業	実施主体	対象者	対象事業費 (円)
51	焼津市	スマートシティY A I Z U データ活用促進事業	地域事業者向けにB Iツール等を活用したデータ ドリブン経営の伴走型支援を実施。	①デジタル	②リススキリングの推進 サポート	市	市内中小企業の経 営者・担当者	4,902,700
52	御前崎市	経営者向け省エネ推進セミ ナー	市内企業の新エネ・省エネを促進するため、導入 セミナーを開催	②グリーン	①経営者等の意識改革	市	市内中小企業の経 営者及び従業員	20,000
53	牧之原市	まささが中小企業支援セミ ナー	市内中小企業のDXを促進するため、DX導入のた めのセミナーを開催	①デジタル	①経営者等の意識改革	市	市内中小企業の経 営者	33,000
54	函南町	かなみ創業セミナー	創業者への専門知識習得をセミナーにより支援。 DX促進（人材育成）についても言及。	①デジタル	①経営者等の意識改革	町商工会 (町の補助金 を使用)	町内の経営者、創 業希望者	350,000
55	函南町	ECサイト開設事業	SNSを利用した販路開拓の講習会等を開催し、 ECサイトを活用できる人材を育成する。	①デジタル	③従業員の理解促進・ リススキリング支援	町商工会 (町の補助金 を使用)	町内の事業者	200,000
56	清水町	資格取得促進事業	自社事業に係る資格取得を促進するため、中小企 業が負担する受験料等の経費の補助	③その他成長分野	③従業員の理解促進・ リススキリング支援	町	町内の中小企業 者・個人事業主・ 従業員	250,000
57	清水町	清水町職業訓練校入校支援 補助金	県知事が認定した職業訓練を実施する職業訓練校 の入学金及び授業料の助成	③その他成長分野	③従業員の理解促進・ リススキリング支援	町	町内に住所を有す る者	60,000

# 令和5年度離職者向けの公的職業訓練の分野別の計画

静岡県

		全体計画数	公共職業訓練（都道府県）		公共職業訓練 （高齢・障害・求職者支 援機構）	求職者支援訓練
			施設内	委託		
分野		定員	定員	定員	定員	定員
公共職業訓練（離職者向け） + 求職者支援訓練（実践コース）	IT分野	143	0	63	0	80
	営業・販売・事務分野	1,030	0	849	0	181
	医療事務分野	325	0	153	0	172
	介護・医療・福祉分野	271	0	186	0	85
	農業分野	12	12	0	0	0
	旅行・観光分野	15	0	15	0	0
	デザイン分野	310	0	60	0	250
	製造分野	353	64	1	288	0
	建設関連分野	154	10	0	144	0
	理容・美容関連分野	0	0	0	0	0
	その他分野	337	20	70	104	143
求職者支援訓練（基礎コース）		233	0	0	0	233
合計		3,183	106	1,397	536	1,144
(参考) デジタル分野		483	0	153	0	330

※ 「定員」とは、当該年度中における開講コースの定員の数。